

神奈川海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況 中間公表(9月15日時点)

番号	区分	推薦を受けたもの						推薦した者（推薦者）								
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		団体等名称	代表者職・氏名	団体等の性格		構成員		推薦理由	
							従事年数	主な漁業種類			目的	その他	人数	構成員たる資格		
1	学識（漁業経営）	玉置 泰司	61	男	団体職員	昭和58年4月 水産庁入省 平成7年4月 水産庁 中央水産研究所 経営經濟部 主任研究官 平成18年4月（独）水産総合研究センター 中央水産研究所 水産經濟部 動向分析研究室長 平成23年4月 同上 経営経済研究センター 需給・経営グループ長 平成30年4月 国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所 経営経済研究センター長 平成31年4月 同センター 再雇用研究員 令和元年7月～ 一般社団法人日本定置漁業協会 専務理事 令和2年7月～ （国法）水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター 社会・生態系システム部 再雇用研究員 令和元年11月～小田原市内水面漁業活性化協議会会員(小田原市) 平成29年10月～令和2年3月小田原市内水面漁業活性化に関する検討会委員(小田原市) 令和2年5月～令和2年度水産多面的機能発揮対策支援委託事業検討委員会委員(金漁連・金内漁連) 平成27年4月～平成27年8月水産業・漁村の多面的機能発揮の支援のあり方に関する検討会委員(水産庁) 平成16年4月～平成17年3月 平成16年度水産業経済構造総合調査中央検討会議委員(水産庁) 平成13年5月～ 漁業経済学会常任理事 平成19年10月～ 地域漁業学会理事	なし		国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所	所長 田中 健吾	水産研究		国立研究開発法人水産研究・教育機構 平成28年4月1日に発足	226人	国立研究開発法人水産研究・教育機構就業規則に基づく	玉置氏は、中央水産研究所において水産経済を専門とした研究に取り組み、「水産業・漁村の多面的機能と政策形成」に関する一連の研究や、地場水産物に関するの実績をあげてきた。特に沿岸漁業の主流である定置網に関する見識も深く、「定置網漁業を核とした六次産業化による地域活性化」は、代表的な研究として高く評価されている。現在は研究員の他、日本定置漁業協会常勤専務理事も務める等、専門を活かし水産振興に尽力していることから、学識経験者（漁業経営）の委員として適任であり推薦を行う。
2	学識（資源管理）	櫻本 和美	68	男	なし	平成28年8月～ 神奈川海区漁業調整委員会会長 昭和52年8月～昭和63年9月 東京水産大学助手 昭和63年10月～平成14年7月 東京水産大学助教授 平成14年8月～平成15年9月 東京水産大学教授 平成15年10月～平成30年3月 東京海洋大学教授 平成20年4月～平成21年3月、平成24年4月～平成26年3月 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋管理政策学専攻主任 平成22年12月～平成24年3月 東京海洋大学学長補佐 平成23年4月～平成24年3月 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用環境システム学専攻主任 昭和58年6月～平成4年5月 国際捕鯨委員会委員 平成13年4月～平成19年3月 国際協力事業団モロッコ零細漁業改良整備計画国内支援委員長 昭和62年1月～同年11月 米国ロードアイランド大学訪問教授 平成14年4月～平成16年3月 国際漁業研究会副会長 平成19年6月～平成23年7月 水産政策審議会資源管理分科会会長 平成22年4月～平成24年3月 日本海洋政策研究学会理事 平成22年8月～平成24年7月 水産施策審議会会長	なし		東京海洋大学海洋資源環境学部	学部長 田中祐志	大学の教育研究に対する国民の要請にこたえとともに、我が国の高等教育及び学術研究の水準の向上と均衡ある発展を図るため教育研究を行うこと	平成15年10月東京商船大学と東京水産大学を統合し、国立大学法人東京海洋大学となった。海洋資源環境学部は平成29年4月から設置された。	教・職員494人 （東京海洋大学の他学部、海洋生命科学部と海洋工学部を含む）	本学規則及びアドミッションポリシーに基づく	櫻本和美氏は、水産資源管理学の専門家として昭和52年に東京水産大学助手として採用され、以来、東京海洋大学を平成30年に定年で退職するまでの41年間、水産資源学を中心に広く教育と研究に邁進してこられた。現在は、東京海洋大学名誉教授である。国際捕鯨委員会科学委員会委員、水産政策審議会会長等の要職を歴任した他、神奈川海区漁業調整委員会会長として活躍し、我が国水産の振興に尽力している。水産学に関する学識は広く豊かで、著作も「水産ハンドブック」（共著）、「漁業管理のABC」（単著）等、多岐に亘る。人柄は温厚・誠実で、大学在職中は多くの学生に慕われた。また、櫻本氏と接した学内外の研究者、教職員の多くも、品位と情熱を兼ね備えた高潔な人柄に魅了された。上記の経緯から櫻本氏を、海区漁業調整委員会における学識経験者委員として相応しい人物であると考え、ここにご推薦申し上げます。	